

ツに着がえて準備OKの知加子クン。いつもの明るい笑顔がこぼれ、楽しみにしていたサーキット走行を前にして、ドキドキ、ワクワク落ち着かない様子だ。

まずは、T.R.S.C.Cの会長である陸野さんに「今日1日よろしくお願いします」と御挨拶。「サーキットは一般路とは違い走りやすいので、自分のペースを守って走れば安全です。ただ、マナー、ルールというものがありますので、それを十分頭に入れて走って下さい」と陸野さんに励まされ、思わず緊張する知加子クン。

☆走る前にクルマのチェック

サーキットを走る上では、走行前のチェックがもっとも重要。これを怠ると思わぬアクシデントを発生させることにもなりかねないし、自分の身を守るためにも、また他のクルマに迷惑をかけないためにも慎重に行わなければならない。というわけで、クラブ員の国久さんにチェックポイントを教わる彼女の目は真実そのもの。



「ただ単に走るだけじゃダメなんですね。クルマの事をよく知っておく事がサーキットを走る上での条件だと思います」。うん、なるほど。彼女にもだんだんサーキット走行の難しさがわかってきたとみえて、なかなかするどい意見が飛ぶようになった。スタッフ一同、今回はいい体験レポートになりそうだと感心していると、「でも、やっぱり楽しいわ〜」とキャピキャピ声で第2声。スタッフ一同ズルッとこけそうになり声を揃えて「彼女ホントにわかってんのかなあ？」

☆ドライバーズミーティング、そしてコースイン!

さて、いよいよサーキットを走る時間がやってきた。走行会に参加するクラブ員にまじってドライバーズミーティングを受ける知加子クン。コースイン、コースアウトの方法、各フラッグの示す意味などをしっかり頭に入れて、いよいよ念願のコースインだ。



しかし、すぐに彼女1人でサーキットを走ることにはちょっと危険ということで、まずT.R.S.C.Cのスタ



ッフである有馬さんの横に乗せてもらい、コースの下見を兼ねた各コーナーの走り方を教わるようになった。クルマは、4 A-Gを搭載するAE-86レビンで、安全対策のためのロールバー、消火器を備えている他はノーマルだ。

この中山サーキットは、ほとんどが右コーナーで、初心者でも比較的走りやすいコース。ただ注意するコーナーは、第1コーナー、スタンド前、最終コーナーのヘアピンで、ここはよくスピンするクルマが多い。このことを彼女に十分理解してもらい、今度は1人で走ることになった。

ピット前でシート、安全ベルトの調整をしてもらう知加子クン。「どう? 大丈夫?」と声をかけると、「はい、平気です。頑張ります」という元気な返事。でも、やはり初のサーキット走行ということで極度に緊張している様子。「キミのクルマ以外は、2台が走行しているだけだから、マイペースで走ればいいよ」と落ち着かせるための言葉をかける。すると、「え〜っ!! 皆さん一緒に走るんじゃないの? つまんな〜い」。なんとも顔に似合わない事を言う女の子です。これなら大丈夫。Let's Go

